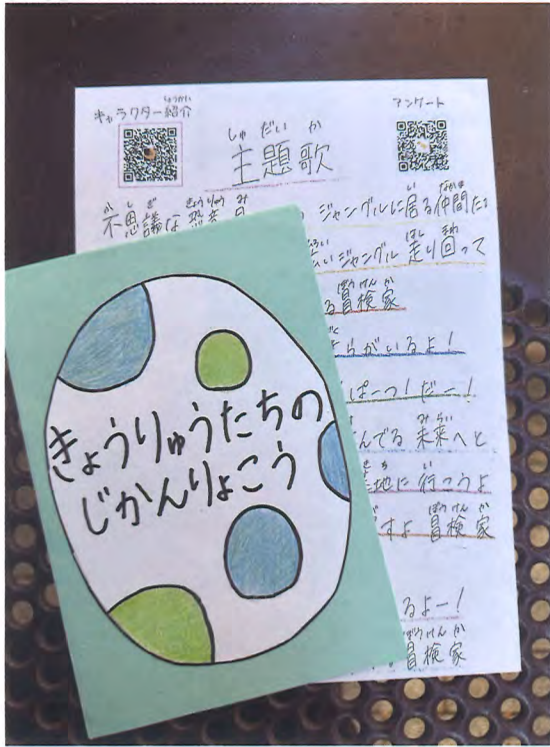




# 子ども学科一大イベント！ まみむめじろ かきくけこども



▲公演の歌詞カード (写真: 櫻井)

大学生活の1年を通して、多くのイベントが主体となつて企画して大学でも開催される。小さい子ども達に、目白大学には、毎年喜んでもらえるよう、子供に開催される「桐和祭」も学科ならではの劇を「こわい」という学 毎年考えている。園祭がある。コロナ禍で劇中では、歌や踊りな4年ぶりのオフライン開催で楽しむ場面がある。催となった2023年 5月頃から全体準備は、約6000人が来がはじまり、会議で振場した。しかし目白大学 各々が本番に向けて準備していき、その過程で後輩や先輩の仲が深まっ

それは子ども学科主催の「まみむめじろ かきくけこども」というイベントだ。毎年、こども学科の1年生から3年生の学 来場していた。その中で生が主体となつて行われ も目立っていた。OBの存在る舞台で、19年間も続い だ。子ども学科の卒業 ている子ども学科恒例の生たちがお世話になつた大イベントである。今回 先生に会いに来たり、自 は、2023年12月16 分の子どもが生まれて一 日に開催された舞台を 緒に観に来たりと、同窓 際に見に行き、取材した 会のような雰囲気も感じ 内容をお伝えする。

2023年の劇テーマ は「きょうりゅうたちの じかんりょう」。きょうりゅうたちが現代にタイ ムスリップし、旅の中でい 段々さまさまな所が風 つかのトラブルなどを 船や絵といった飾り付け 乗り越え、きょうりゅう に溢れ、入口からその世 たちの絆が深まってい 界観に飲み込まれる。劇 べたように、先にも述 が始まる子どもたちは、 おり、一から全を作り べたように、同イベント キヤストの学生と二緒に 上げた学生達の努力の は企画から演出・歌や踊 踊ったり、事前に配布さ 賜物だと感じた。



▲公演の様子 (写真: 櫻井)

YOUTUBEはこちら

目白大学公式

「まみむめじろ かきくけこども」は、今これからの子ども学科の学生 とのつながりの場であり、 地域の人々に元気をあ げ、子どもたちに笑顔を 届けるイベントであつた。 これからもこうした大イ ベントはさらに大きな盛 り上がりを見せ、規模が 拡大していくだろう。同 イベントは目白大学の公 式YOUTUBEで視 聴することができ、興味 興味を持ったらぜひ見て ほしい。クオリティの高 い劇に感銘を受けるだろ う。

(メディア学部3年 櫻井 雄哉 寄稿)

## Cooking Essay

### ふわ井

嬉しいことがあったから美味しいものを食べよう、イライラするからたくさん食べちゃおう、悲しいことがあったから食べて忘れよう、みんなで持ち寄って楽しくパーティーしよう。喜怒哀楽、私たち人間の感情にいつも寄り添ってくれるのは、「食」だろう。思い出し共にあるのも「食」だ。だれと、いつ、どこで、どんな話をして、何をしていたか、エピソードが出てくる料理があるのではないだろうか。

今回紹介するのは、「ふわ井」。他の料理名をつけるならば、「くずし豆腐とそばろのあんかけ井」。私は家族以外で「ふわ井」と呼ぶ人をみたことがない。なぜ家族がそれを「ふわ井」と呼ぶのかはわからないが、ずっと前からそうなのだ。はじめに作り始めたのは父方の祖母で、簡単だからという理由で私の母もよく作っていた。

私のきょうだいは、あまりこの料理が好きではなかったみたいだが、幼い頃かなりの偏食だった私は、何杯もおかわりするほど大好きだった。どのくらい偏食だったかというと、最近祖母に「なぜ21年間大きな病気もなく生きてくるのか不思議」と言われるくらいだ。小学2年生の時に学校で食の授業があり、野菜を育てている人、給食を作っている人たちの思いを聞いてから、途端に野菜を食べ始めた。生まれてから食べてこなかったものを急に食べ始めて体がびっくりしたのか、体調不良になって病院で点滴をした。野菜を食べ始めたことと関係はないだろうが、同じ時期に小児喘息にもかかった。

今は祖母とも母とも離れて暮らしているが、時々この料理を自分作って、当時を思い出して懐かしさにひたる。(編集部3年 黒木茉愛里)

### ふわ井の作り方

- ① 熱したフライパンに、すりおろした生姜とニンニクを入れて炒める
- ② ニンニクの香りが立ったら、豚ひき肉を入れて、色が変わるまで炒める
- ③ 豚ひき肉に火が通ったら、木綿豆腐を入れて、軽く崩しながら炒める
- ④ 全体に油が回ったら、水と合わせ調味料を混ぜて加熱する(お好みで味の調整)

【材料 (1~2人前)】  
豚ひき肉 100g  
木綿豆腐 200g  
すりおろし生姜 お好みの量  
すりおろしニンニク お好みの量  
ごま油 適量  
小ねぎ 適量  
水 適量  
合わせ調味料: しょうゆ (小さじ2 ずつ) みりん 鶏ガラスープの素



(イラスト: 黒木)

目白大学新聞 創刊30周年祝50号

1994年5月に創刊された目白大学新聞は、2024年に創刊30周年、そして50号目の節目を迎えた。本号では、過去に目白大学新聞の制作に携わった卒業生から目白大学新聞に関する思い出や新聞制作を通して学んだこと、今後の目白大学新聞に期待していることを伺った。

① 目白大学新聞の思い出  
② 取材活動で学んだこと  
③ 今後の目白大学新聞に期待すること

田村沙織さん (旧姓: 久保木)

2014年度卒 2014年、2020年印刷会社に勤務、雑誌「anna」のDTPに従事

「記事を書いて、「はい、②私が大学新聞の制作からが大変だった思い出は、「記事を書き、発信する責任」です。当たり前ですが、事前に読んでおくべきこと、意外と忘れた時、時々ネタもあれば、これがちのことです。だぶぼれ話など内容も十人十色、どの記事を何面しようか、インターネットに持ってくるかなど、たどっては時として炎上など、くさん頭を悩ませました。起きやすいのだと思いま

額川佳奈さん (2017年度卒 株式会社日立ビルシステムに勤務)

「記事を書いて、「はい、②私が大学新聞の制作からが大変だった思い出は、「記事を書き、発信する責任」です。当たり前ですが、事前に読んでおくべきこと、意外と忘れた時、時々ネタもあれば、これがちのことです。だぶぼれ話など内容も十人十色、どの記事を何面しようか、インターネットに持ってくるかなど、たどっては時として炎上など、くさん頭を悩ませました。起きやすいのだと思いま

山崎友利花さん (2021年度卒 小学館「美的」編集部 編集アシスタント)

「記事を書いて、「はい、②私が大学新聞の制作からが大変だった思い出は、「記事を書き、発信する責任」です。当たり前ですが、事前に読んでおくべきこと、意外と忘れた時、時々ネタもあれば、これがちのことです。だぶぼれ話など内容も十人十色、どの記事を何面しようか、インターネットに持ってくるかなど、たどっては時として炎上など、くさん頭を悩ませました。起きやすいのだと思いま

目白大学新聞 創刊30周年祝50号

「学生文化の創造を」 盛大な入学式 高橋学長が告辞

羽ばたくフレッシュマン

山崎友利花さん 目白大学新聞として形になることが何よりも嬉しく、いい経験でした。

▲目白大学新聞 初号

学生インタビュー

# 手話サークル 新時代到来

2023年度秋学期から本格的に活動を再開した手話サークルオレンジは、役員すべてを1年生(2023年度当時)が務めている。サークルの会長である人間福祉学科1年(当時)の平田琉大さんと、副会長の八木田佳那子さんに活動内容や今後の展望を聞いた。

手話サークルオレンジイベントを開いたり、学たと思ってもらえれば、には現在(2023年)んだ手話をアウトプット なの良いですね。」と話。度当時) 28名が所属する場を作る予定だとい 八木田さんは「副会長とており、入部を検討中のう。その他、他大学の手して会長をサポートしつ学生を含めて30人を超す 話サークルとの交流など、つ、サークルの活動規模見込みだ。所属学生が多 やりたいことは尽きない。 をどんどん大きくして、くは人間福祉学科の学生 難しいと思われがちな リラックスして手話を学で、顧問も同学科の先生 手話だが、手話サークル べる環境作りをしていきなのだという。 オレンジでは、誰がいつ活 たいです。」と笑顔で答え、2023年度の秋学 動に参加しても大丈夫 だ。新2年生が引つ張る、期まで正式な活動がで きな内容にしているという。 手話サークルオレンジの ない状態にあり、止まっ また二人は、目白大学で 今後の活動に注目だ。 ていた活動を再開させよ の学生生活において学部 (編集部3年 黒木茉愛うと動いたのが、手話サー 外のつながりが少ないと クルに興味を持っていた 感じていた。「手話に興味 1年生だ。平田さんは同 がある人はもちろん、学 学科の先輩からサークル 部や学年を超えたつな ぐの話を聞き、八木田さん りが欲しい人も大歓迎で や他の学生を誘って人数 ず。1年生から4年生ま を集めた。役員を1年 で、幅広い申し込みをお 生が務めていることについ 待ちしています。」と八木 て、平田さんは「先輩方 田さんは話。 と比べると時間に余裕が これからどのような あることや、連絡の取り サークルに やすきなどから1年生が していき 役員を引き受けました。 いか訊ねる 結果、より風通しの良い と、会長の サークルになるのではない 平田さんは かと「思います。」と前向き 「手話を第 二言語とし

これまでに活動内容は、て、みんな週に1〜2回集まって手 が楽しんで話を学ぶだけであつたが、学べるサー これからはサークル内や クル作りを 大学内にとどまらず、活 していき 動の幅を広げていきたい います。そ と二人は語る。学外のボ して、目白 ランティアに参加したり、大学に入学 季節ごとに手話を絡めた してよかつ

手話サークルオレンジの Instagram はこちらから



▲オレンジの手話をする平田さん(左)と八木田さん(右)(写真:黒木)

学生インタビュー

# 学生団体 メジ☆スタとは?



▲篠原さん(写真:黒木)

▲篠原さんと2024年度総リーダーのいちかさん(写真:黒木)

2024年1月15日、2023年度メジ☆スタの解散式が行われた。メジ☆スタとは主にオープン学部や学年を跨いで多くキャンパスの運営補助の人と関わることができ、大学パンフレットなどへの撮影協力を行う受験生サポート団体で、まさに目白大学の顔と言えるだろう。今回は、2023年度総リーダーの篠原麗さんに参加していただいた。入学メジ☆スタの魅力について聞いた。

「私たちの基本的な活動は、4〜9月に開催されるオープンキャンパスの運営補助です。受験生が目白大生に個別で相談できる「メジトーク」やキャンパスツアーを行っています。大学SNSのフォロー促進のために大学のロゴが入ったグッズを配布したり、最近では秋に行われる学園祭でもメジトークを実施したりしています。」

「私たちがの学年で1年生から続けていた人が少なかったのもありますが、前の総リーダーに推薦してもらって総リーダーになりました。メジ☆スタには総リーダーを筆頭として、総副リーダー、OC(キャンパスツアー)班、イベント班それぞれ

「私たちがの学年で1年生から続けていた人が少なかったのもありますが、前の総リーダーに推薦してもらって総リーダーになりました。メジ☆スタには総リーダーを筆頭として、総副リーダー、OC(キャンパスツアー)班、イベント班それぞれ

「私たちがの学年で1年生から続けていた人が少なかったのもありますが、前の総リーダーに推薦してもらって総リーダーになりました。メジ☆スタには総リーダーを筆頭として、総副リーダー、OC(キャンパスツアー)班、イベント班それぞれ



▲解散式当日の様子(写真:黒木)

「私たちは受験生をサポートするために活動したとおり、オープンキャンパスに来た受験生が活動しているの、他学にケートに嬉しいことを科他学年の人たちと長い書いてくれた時が、一番時間一緒にいて確実に仲りがいを感じますね。そ 良くなることができます。それを踏まえてメジ☆スタ 縦や横の繋がりがほしいメンバーが楽しいと思っ 人は参加を検討してみたり、自身の成長を感じてください。また、コミュニケーションが好きな人としては嬉しいです。あ もちろん、苦手な人は活とSNSのフォローが 動をとおして成長できる増えた時など、メジ☆スタのでぜひ参加してほしいの活動の成果が見えた 時にもやりがいを感じま (編集部3年 黒木茉愛里」

総リーダーからみたメジ☆スタの魅力

「やっぱり一番は、他学科や他学年と関わることではないでしょうか。例年、子ども学科の割合が多めですが、幅広い学科の学生が在」



▲インタビューに応じてくださった久保さん(写真:青田)

「チアリーディング部「QUAKES(クエイクス)」に所属している久保里歩さんが、昨年11月23日、25日、26日に日本で開催された「第11回チアリーディング世界選手権大会」の選抜日本代表ナショナルチームメンバーの一人として出場しました。

# チアで夢の世界大会へ!

学生インタビュー



▲所属アイドル Love♡Cherish のライブ (写真: BELL AGENCY 提供)

私はゼミ雑誌である「MEen」号で、アイドルの世界についての雑誌記事を執筆しました。実は「アイドルをプロデュースする上で、メンバーのコミュニケーションに気を配ることは非常に重要」という質問に「プロデューサーは、メンバーの個性を活かすことが大切」と答えています。...

# アイドルの世界を覗く



LoveCherish

結成日: 2022年4月16日

愛を大切に、愛でフロアを沸かせ、愛をお届けする気持ちで命をかけた「LoveCherish」。王道×元気をテーマにパワフルで楽しいライブにすることがモットー。



ソラネルカンパニー

結成日: 2020年9月4日

会社組織(カンパニー)をコンセプトに活動している。王道×清楚をテーマに社長や企画課などメンバー、一人一人に役割がつけられている。



COLOR'z

結成日: 2018年2月25日

カラーギャングアイドルをコンセプトに活動している。王道×ロックをテーマに客席を巻き込む楽曲で会場の雰囲気をも盛り上げる。

作に必要なスキルであると言われ、一日中動き回らなければいけないので、ライブ後は疲れと共に関心を持っていました。ワンマンライブや生誕祭の様子については、私自身がスタッフの真実としてライブを成功させるためにイベントを創りあげた経験についてまとめました。...

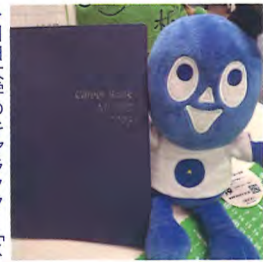


▲キャリアセンターの入口 (写真: 石塚)

# キャリアセンターを有効活用しよう

キャリアセンターを度々も活用したことがあるだろうか。活用した人は少ないだろう。なぜなら、就活の使用頻度が多いからだ。1・2年生は度々キャリアセンターに入ったことがないという人が多数なのではないか。

キャリアセンターとは、キャリアセンターの運営や、外部会場での学生のための就活支援である。キャリアセンターの合同説明会などを開催するサービスのことを指す。...



▲目白大学のキャラクター「メジロ」とキャリアブック(写真: 石塚)

## 目白大学新聞

編集長 黒木茉愛里  
編集部 青田夏希 石橋亮祐 加茂明日香 後藤博美 谷津田義悠 永田怜那 真壁啓 宮田ひかる  
記事寄稿 石塚千晶 佐久間萌音 櫻井雄晟

### 「MEen」

メディア学部 三上ゼミ3年生が2023年度秋学期に制作したフリーペーパー。前回の創刊号に続く2号では「未来」をテーマに、様々な職業の特集で構成。約1年間のゼミ活動で得た知識や技術が詰まった一冊となった。メディアと共に生きる未来のために読んでいただきたい。(編集長3年 佐久間萌音)



### 「THE DEEPEST」

メディア学部 三上ゼミ2年生が2023年度秋学期に制作したフリーペーパー。テーマは、ディープなコンテンツ。あえて一貫性のないテーマにすることで、ページをめくると新たな知見を得られるフリーペーパーとなった。大学内で見かけたらぜひ手にとって欲しい。(編集長2年 宮本耕輔)

